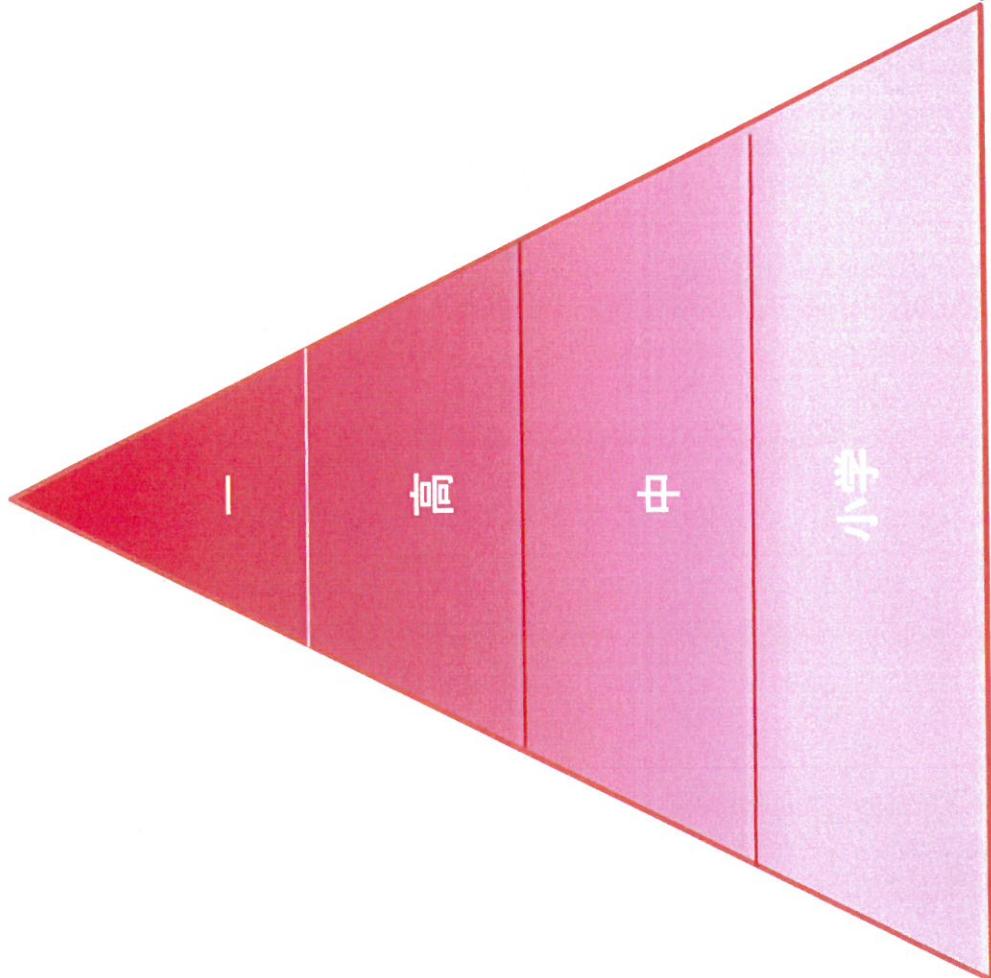
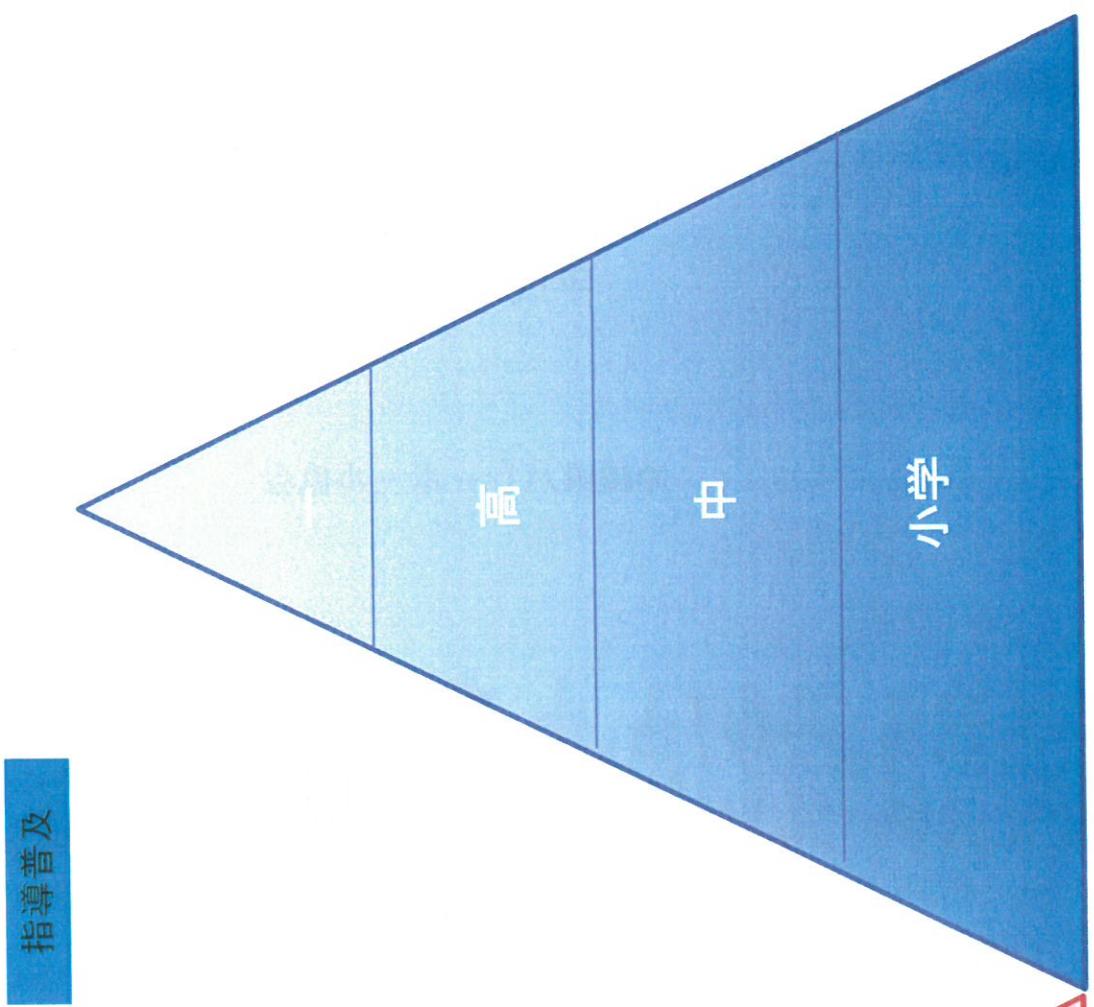


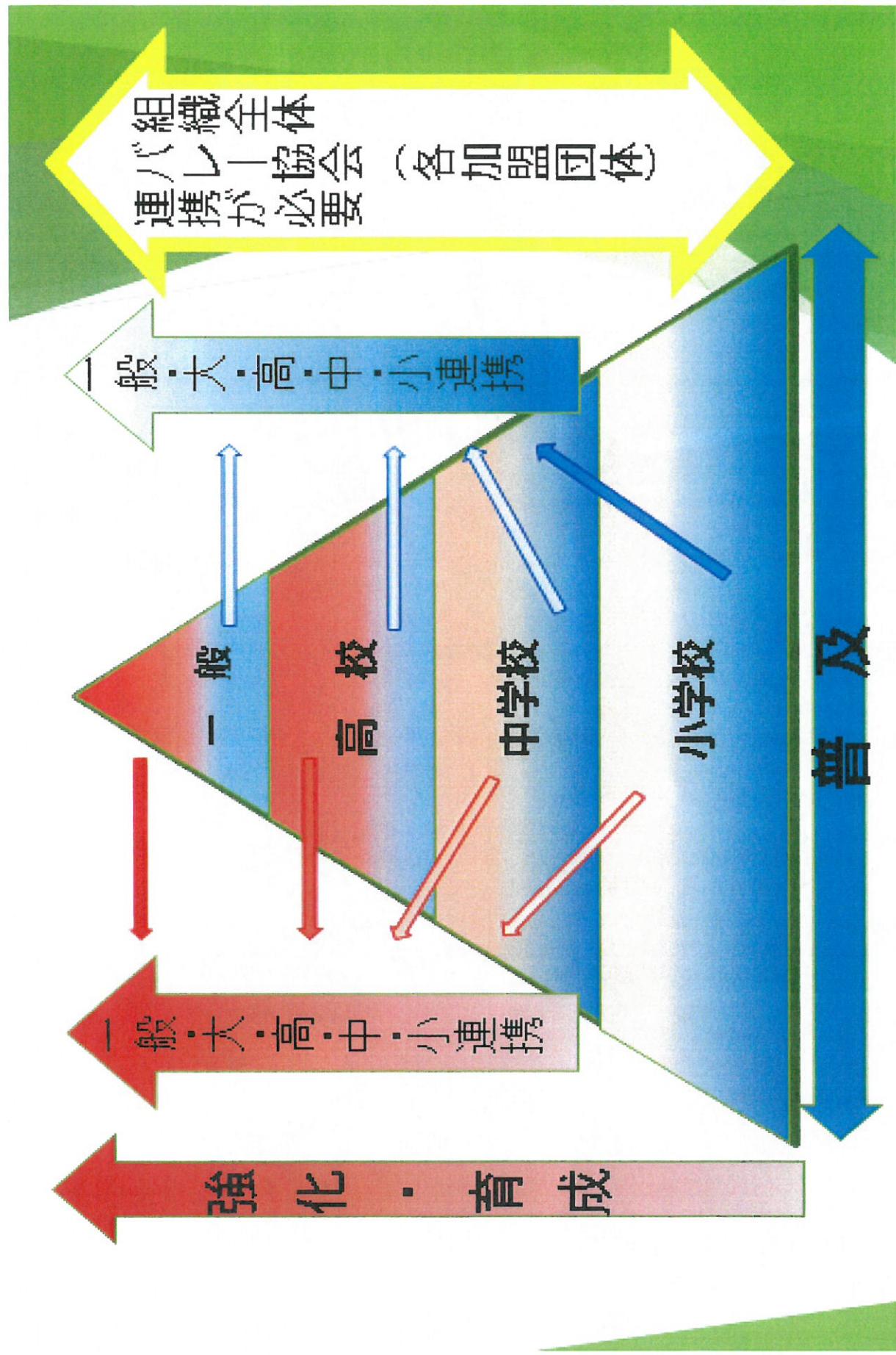
平成 27 年度

沖縄県バレーボール協会

指導並びに強化(小・中・高・大学・一般)連絡協議会

(資料)



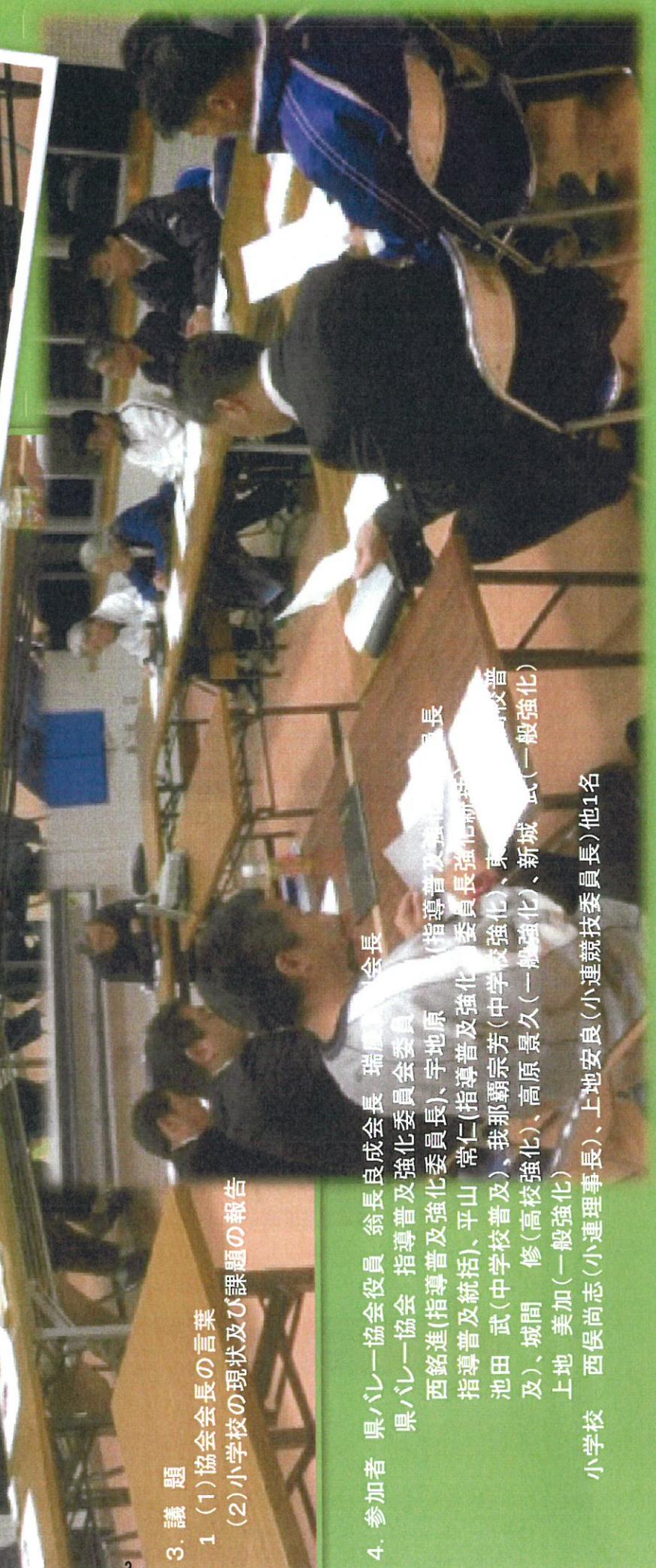


第1回指導普及・強化(小・中・高・大学・一般)連絡協議会の内容(小学校・中学校の現状と課題)

1. 時 時: 平成26年2月12日(水曜日) 19:00~21:00
2. 場 所: 西原中学校(視聴覚室)

3. 議 題
1 (1)協会会长の言葉
(2)小学校の現状及び課題の報告

4. 参加者
- | | | |
|------------------------|-------------------|-------------------|
| 県バレーボール協会役員 | 翁長良成会長 | 瑞穂会員 |
| 県バレーボール協会 指導普及強化委員会委員長 | 西地原 銘進(指導普及強化委員長) | 宇地原 常仁(指導普及強化委員長) |
| 指導普及統括) | 池田 武(中学校普及) | 我那覇宗芳(中学校強化) |
| 及) | 城間 修(高校強化) | 高原景久(一般強化) |
| 上地 美加(一般強化) | 新城 式(一般強化) | 西俣尚志(小連競技委員長) |
| 小学校 | 上地安良(小連競技委員長)他1名 | |



各加盟団体の現状と取り組み

	指導普及		強化	
小学校	1	ソフトバレーボール大会 3・4年生大会実施	1	九州・全国代表チームによる強化練習会
	2	スポーツ少年団(沖縄・北海道交流大会)普及と強化の側面	2	スポーツ少年団(沖縄・北海道交流大会)普及と強化の側面
	3	県外チームと交流大会の実施	3	各地区で宮崎・熊本・佐賀県との交流大会を実施
	4		4	
	5		5	
	6		6	
中学校	7	全国中学生指導者研修会	7	ジュニア育成クリニック(男子)
	8	U14大会	8	鹿児島県との強化交流会
	9	小中男子指導者の名簿作成	9	中(JOC)高(国体一次候補)合同練習会
	10		10	
	11		11	
	12		12	
	13		13	
高校	14		14	高校(国体一次候補)一般(徳洲会)合同練習会
	15		15	
	16		16	
	17		17	
	18		18	

第1回(小中高大一般)指導普及強化連絡協議会資料の報告書(2014.02.21)より抜粋

小学校、中学校的課題

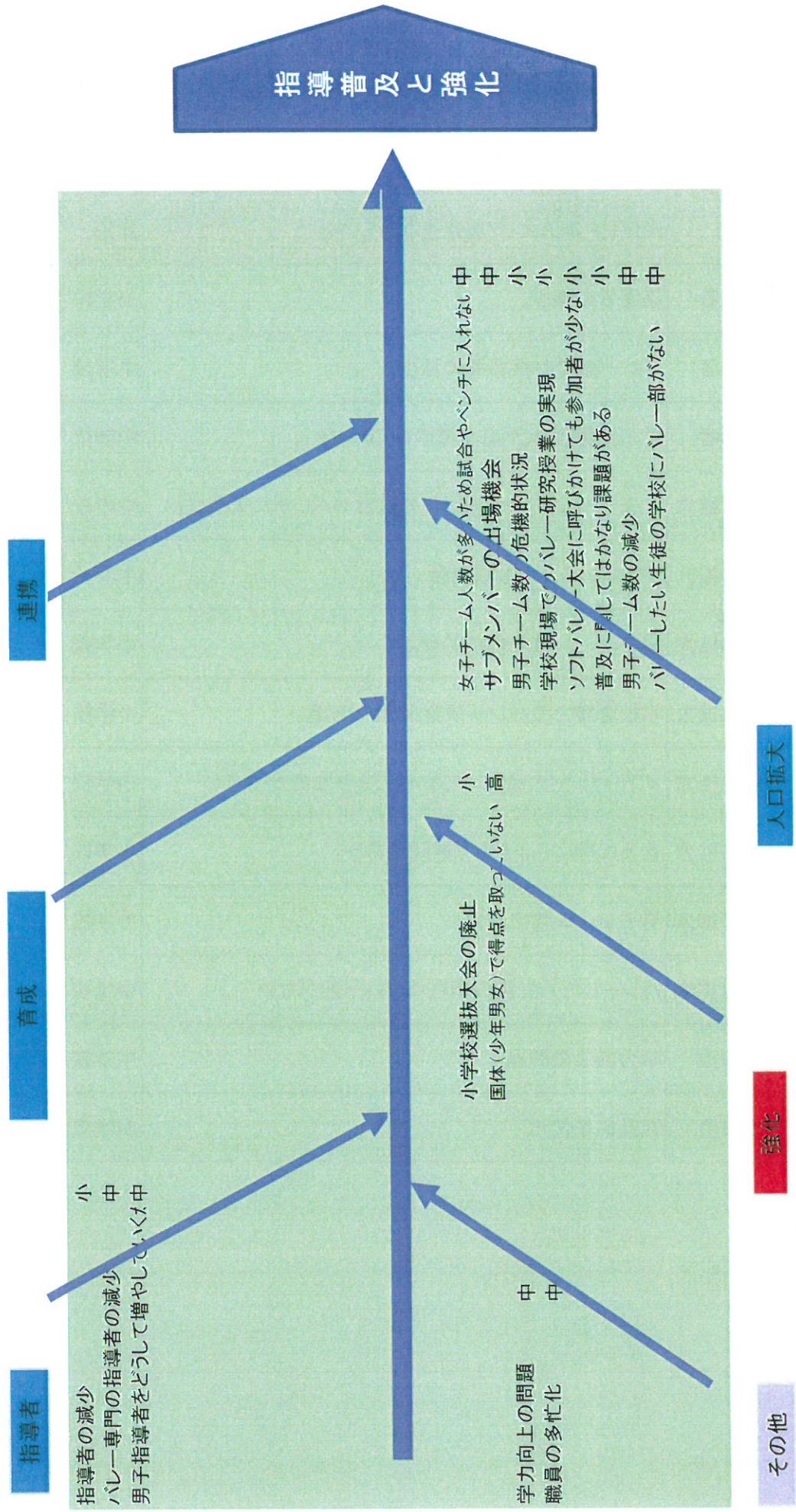
	指導普及		強化	
小学校	1	男子チーム数の危機的状況	1	小学校選抜大会の廃止
	2	指導者の減少	2	
	3	学校現場でのバレー研究授業の実現	3	
	4	ソフトバレー大会に呼びかけても参加者が少ない	4	
	5	普及に関してはかなり課題がある	5	
	6		6	
中学校	7	男子チーム数の減少	7	
	8	バレー専門の指導者の減少	8	
	9	男子指導者をどうして増やしていくか	9	
	10	バレーしたい生徒の学校にバレー部がない	10	
	11	女子チーム人数が多いため試合やベンチに入れない	11	
	12	サブメンバーの出場機会	12	
	13	学力向上の問題	13	
	14	職員の多忙化	14	
高校	15		15	国体(少年男女)で得点を取っていない
	16		16	
	17		17	
	18		18	
	19		19	

第1回(小中高大一般)指導普及強化連絡協議会資料の報告書(2014.02.21)より抜粋

小学校、中学校の課題(分類)

指導普及	分類	内容	カテゴリー	分類
1	強化	小学校選抜大会の廃止	小学校	連携
16	強化	国体(少年男女)で得点を取っていない	高校	人口拡大
2	指導者	指導者の減少	小学校	育成
8	指導者	バレー専門の指導者の減少	中学校	指導者
9	指導者	男子指導者をどうして増やしていくか	中学校	強化
11	人口拡大	女子チーム人数が多いため試合やベンチに入れないと	中学校	その他
12	人口拡大	サブメンバーの出場機会	中学校	
1	人口拡大	男子チーム数の危機的状況	小学校	
3	人口拡大	学校現場でのバレー研究授業の実現	小学校	
4	人口拡大	ソフトバレー大会に呼びかけても参加者が少ない	小学校	
5	人口拡大	普及に関してはかなり課題がある	小学校	
7	人口拡大	男子チーム数の減少	中学校	
10	人口拡大	バレーしたい生徒の学校にバレー部がない	中学校	
13	その他	学力向上の問題	中学校	
14	その他	職員の多忙化	中学校	

小学校、中学校の課題(魚の骨図)



平成26年度 沖縄県バレーボール協会



日 平成26年8月30日(土)

間 17:30~18:50

場 県立コザ高校 橋会館3階

期 1. 参加者: 県バレーボール協会(三役、常任理事、小学生バレーボール連

時 2. 3. 4. 参加者: 県バレーボール専門部理事、高体連バレーボール専門部連

各加盟団体及び指導普及強化委員の意見・アンケート集約

指導普及強化(小中高大一般)連絡協議会アンケート集計結果より(8/30)

	指導普及		強化		その他			
1	連携	地域クラブ育成と部活動との連携	1	育成	選手育成の長期的な計画	1	その他	HPの運用及び活用
2	人口拡大	ハレーボールの人口拡大	2	強化	県内大学の強化	2	その他	指導普及強化委員の増員
3	育成	指導者の育成	3	その他	Tシャツ販売等による強化費の捻出	3	その他	普及強化に關する中長期的な具体的な方針
4	育成	指導者がハレーボール未経験者への出前指導	4	強化	底辺(小学校)からの強化が必要	4	連携	小連との繋がり
5	人口拡大	ハレーボール人口を増大させる新たな方策	5			5	人口拡大	強化と人口拡大の両立
6	育成	ハレーボール経験者の掘り起して、指導者の掘り起し	6			6	連携	小学校中学校の連携を取る方法
7	連携	各加盟団体と小連との連携	7			7	その他	情報の共有や伝達を図る
8	連携	小中連携	8			8	連携	各加盟団体同志の合同大会
9			9			9	連携	県が指導普及・強化の方針を提示してほしい
10			10			10	連携	協会主催の高校の大会を土日にできないか?
11			11			11		
12			12			12	その他	HPで各加盟団体の役員体制や総会の内容。
13			13			13		
14			14			14	その他	発掘委員会の新設
15			15			15		

指導普及強化委員の意見

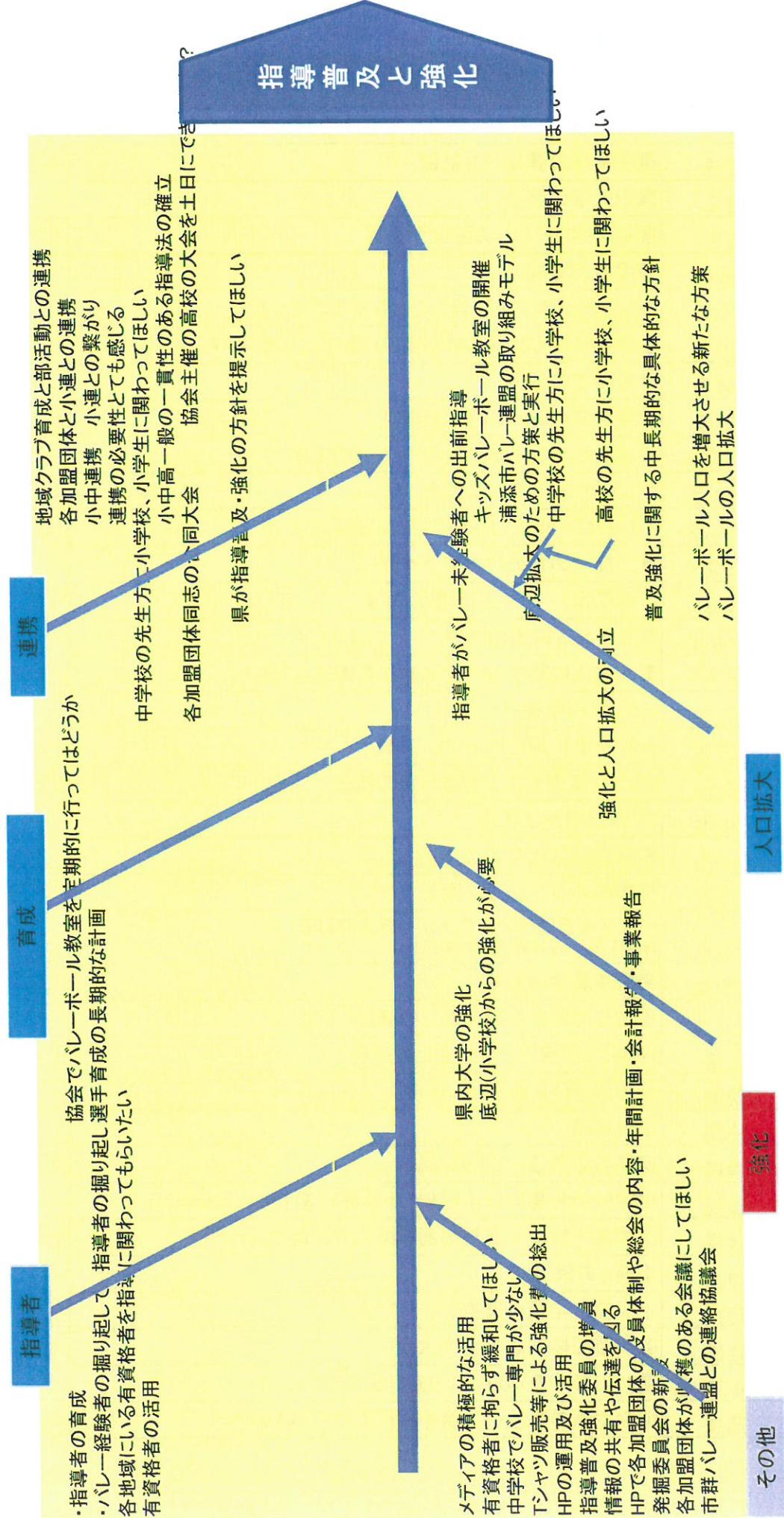
	指導普及		強化		その他			
16	その他	メディアの積極的な活用	16	連携	小中高一般の一貫性のある指導法の確立	16	その他	各加盟団体が収穫のある会議にしてほしい
17	連携	連携の必要性とても感じる	17			17		
18	育成	協会でハレーボール教室を定期的に開催はどうか	18			18		
19	その他	有資格者に拘らず緩和してほしい	19			19		
20	連携	中学校の先生方に小学校、小学生に関わってほしい	20			20		
21	育成	各地域にいる有資格者を指導に関わってもらいたい	21			21		
22	人口拡大	底辺拡大のための方策と実行	22			22		
23	人口拡大	キッズハレーボール教室の開催	23			23		
24	育成	有資格者の活用	24			24		
25	その他	中学校でハレー専門が少ない	25			25		
26			26			26		
27			27			27		
28			28			28		
29			29			29		
30			30			30		

各加盟団体からの意見

意見アンケート分類

分類	内容	分類
育成	協会でバレーボール教室を定期的に行ってはどうか	連携
育成	選手育成の長期的な計画	人口拡大
強化	県内大学の強化	育成
強化	底辺(小学校)からの強化が必要	指導者
指導者	指導者の育成	強化
指導者	バレー経験者の掘り起して、指導者の掘り起し	その他
指導者	各地域にいる有資格者を指導に関わってもらいたい	
指導者	有資格者の活用	
指導者	中学校でバレー専門が少ない	
人口拡大	指導者がバレー未経験者への出前指導	
人口拡大	バレーボールの人口拡大	
人口拡大	バレーボール人口を増大させる新たな方策	
人口拡大	底辺拡大の方策と実行	
人口拡大	キッズバレーボール教室の開催	
人口拡大	強化と人口拡大の両立	
人口拡大	普及強化に関する中長期的な具体的な方針	
その他	メディアの積極的な活用	
その他	有資格者に拘らず緩和してほしい	
その他	Tシャツ販売等による強化費の捻出	
その他	HPの運用及び活用	
その他	指導普及強化委員の増員	
その他	情報の共有や伝達を図る	
その他	HPで各加盟団体の役員体制や総会の内容・年間計画・会計報告・事業報告	
その他	発掘委員会の新設	
その他	各加盟団体が収穫のある会議にしてほしい	
連携	地域クラブ育成と部活動との連携	
連携	各加盟団体と小連との連携	
連携	小中連携	
連携	連携の必要性とても感じる	
連携	中学校の先生方に小学校、小学生に関わってほしい	
連携	小中高一般の一貫性のある指導法の確立	
連携	小連との繋がり	
連携	小学校中学校の連携を取る方法	
連携	各加盟団体同志の合同大会	
連携	県が指導普及・強化の方針を提示してほしい	
連携	協会主催の高校の大会を土日にできないか？	

魚の骨図(意見・アンケート)



魚の骨図(課題・アンケート集計)

|は課題

指導者

- ・指導者の減少
- ・バレーボール指導者の減少
- ・男子指導者をどうして増やしていくか

連携

- ・指導者の育成
- ・バレーボール指導者の掘り起し
- ・各地域にいる有資格者を指導に関わってもらいたい
- ・有資格者の活用
- ・人材バンク

協見

- ・協会でバレーボール教室を定期的に実施
- ・選手育成の長期的な計画

育成

- 1. メディアの積極的な活用
 - ・有資格者に拘らず緩和してほしい
 - ・中学校でバレーボール専門を増やす
 - ・Tシャツ販売等による強化費の捻出
 - ・HPの運用及び活用
 - ・指導普及強化委員の増員
 - ・情報の共有や伝達を図る
- HPで各加盟団体の役員体制や総会の内容・年間計画・会計報告・事業報告
- 発掘委員会の新設
- 各加盟団体が市町村との連絡協議会
- 市群バレーボール連盟との連絡協議会

- ・地域クラブ育成と部活動との連携
 - ・各加盟団体と小連との連携
 - ・小中連携 小連との繋がり
 - ・連携の必要性とても感じる
- ・中学校の先生方に小学生に関わってほしい
- ・中高一貫 協会主催の高校の大会を土日に開催するか?
- ・各加盟団体同志の合同・会

県が指導普及・強化の方針を提示してほしい

指導普及と強化

- ・指導者がバレーボール経験者への出前指導
 - ・キッズバレーボール教室の開催
 - ・浦添市バレーボール連盟の取り組みモデル
- ・底辺拡大のための方策と実行
- ・県内大学の強化
- ・底辺(小学校)からの強化

- ・強化と人口拡大の両立
- ・高校の先生方に小学校、小学生に関わってほしい
- ・普及強化に関する中長期的な具体的な方針
 - ・バレーボール人口を増大させる新たな方針
 - ・バレーボールの人口拡大

- 女子チーム人数が多いため試合やベンチに入れない
- サブメンバーの出場機会
- 男子チーム数の危機的状況
- 学校現場でのバレー研究授業の実現
- ソフトバレー大会に呼びかけても参加者が少ない
- 普及に開してはかなり課題がある
- 男子チーム数の減少
- バレーボールの人口拡大

小学校選抜大会の廃止
国体(少年男女)で得点を取っていない!

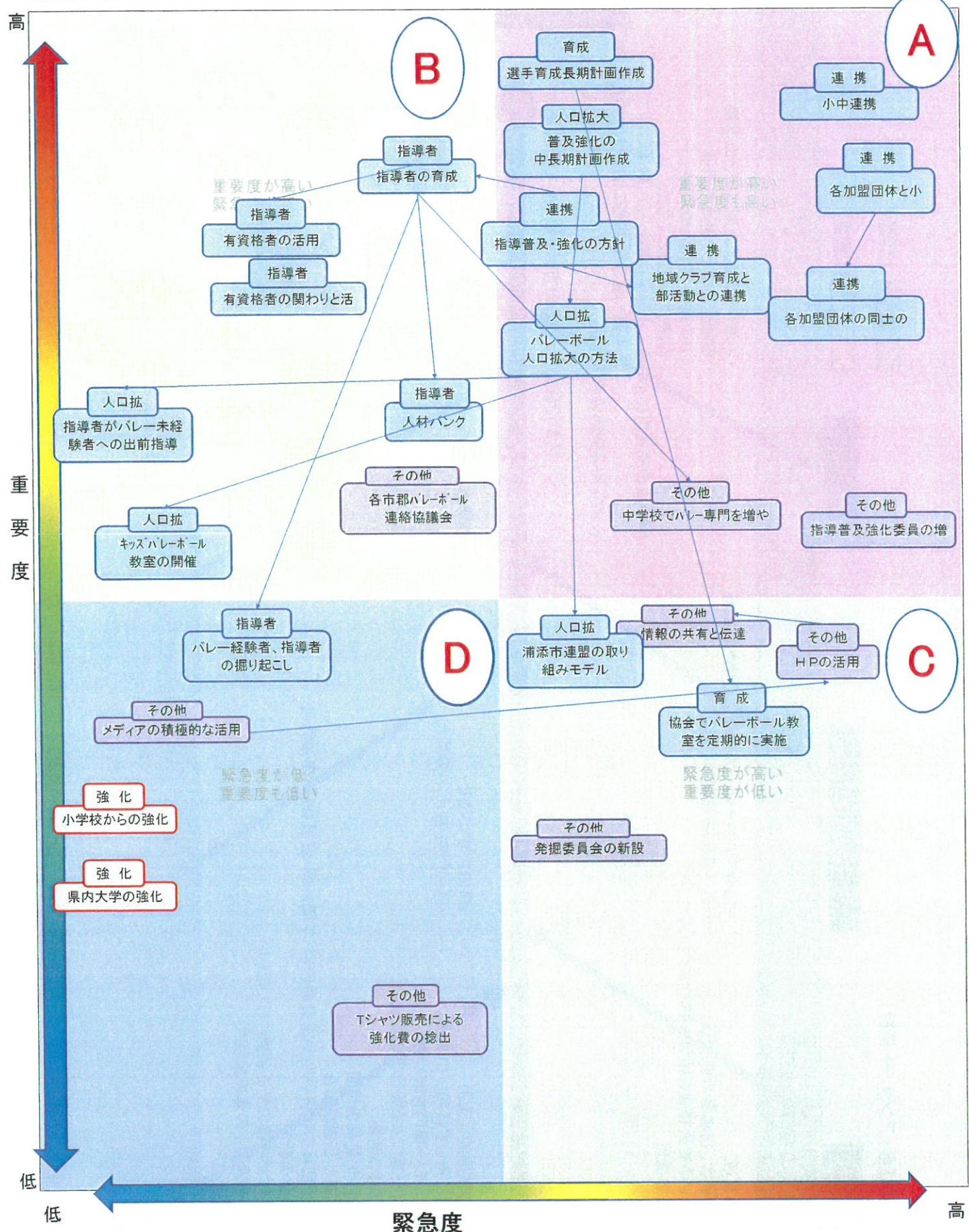
学力向上の問題
職員の繁忙化

その他

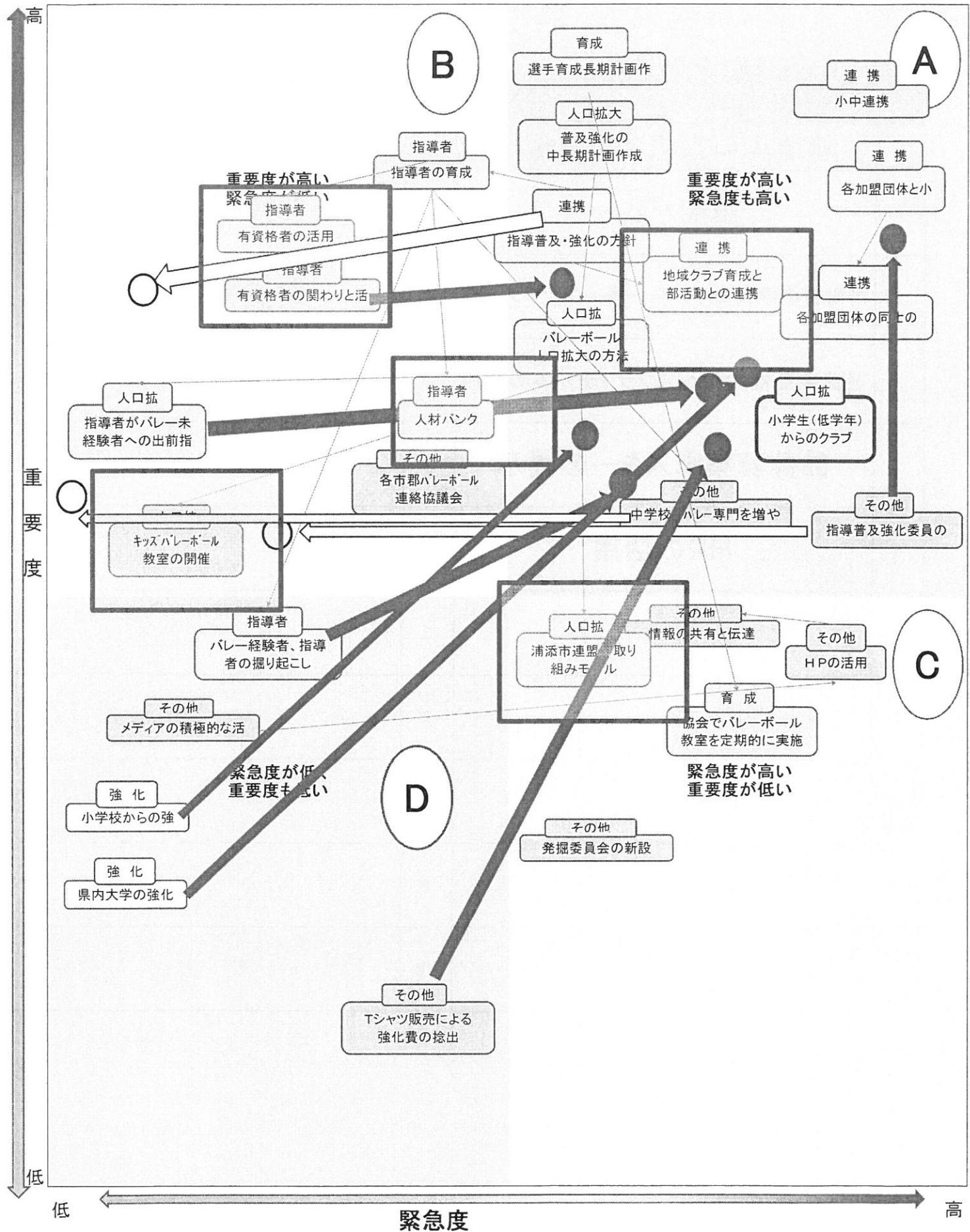
人口拡大

強化

優先順位の目安ABCD



優先順位の目安ABCD



指導普及

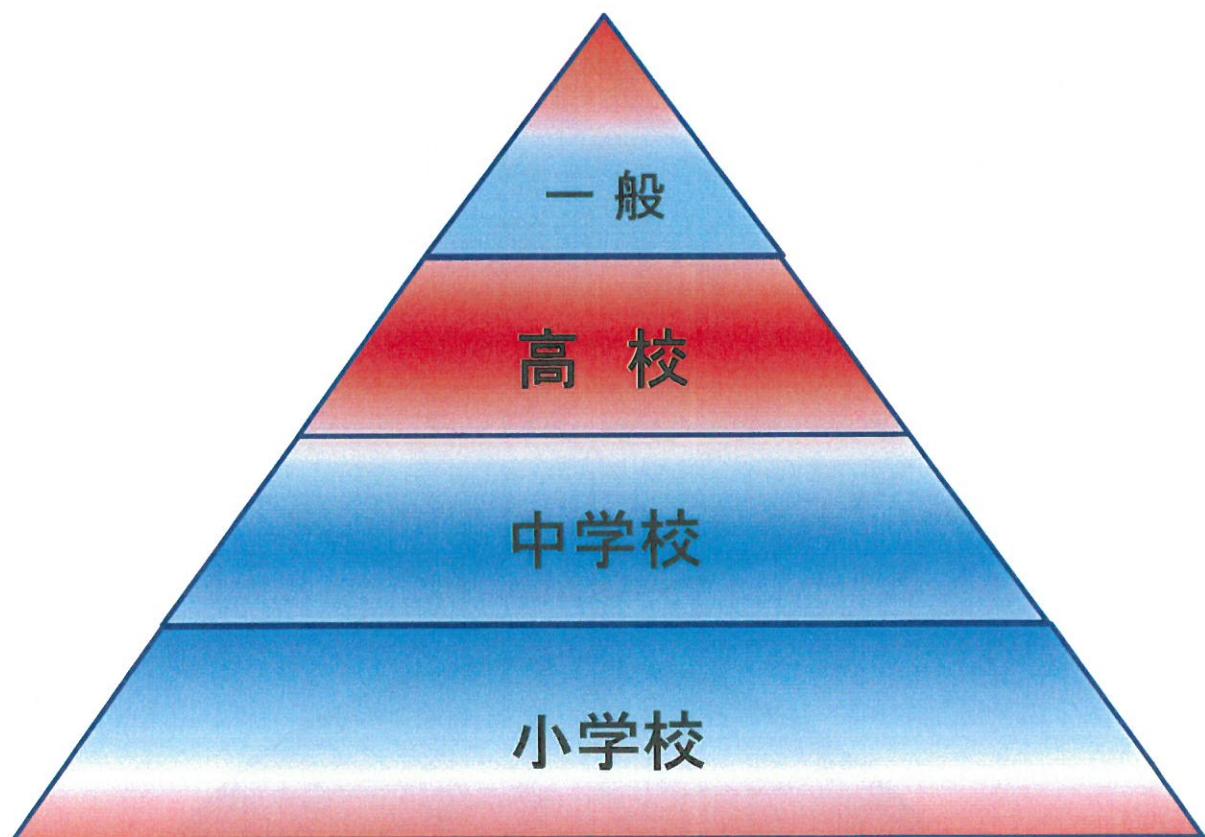
競技人口拡大の取り組み		指導者育成の取り組み	
1	風船バレー	1	人材バンク(新規)
2	市町村小学校男子バレーボールクラブ結成	2	有資格者の活用
3	県協会主催大会へのクラブチームの参加	3	
4	部員募集ポスターの掲示	4	
5	HPの活用	5	
6		6	
7		7	
8		8	
9		9	
10		10	

競技人口拡大

1. 風船ナバレー
2. 沖縄市バレーホールチーム結成
3. 協会主催(中学・高校)大会へのクラブチームの出場資格
4. 部員募集用ポスター活用
5. HPの活用

指導者育成

1. 人材バンク
2. 有資格者活用



平成 26 年度 沖縄県バレー ボール協会
第 2 回指導普及・強化（小・中・高・大学・一般）連絡協議会（報告書）

1. 期日：平成 26 年 8 月 30 日（土）
2. 時間：17:30 ~ 18:50
3. 会場：県立コザ高校 橋会館 3 階
4. 対象者：県バレー ボール協会（三役、常任理事、小学生バレー ボール連盟理事、中体連バレー ボール専門部理事、高体連バレー ボール専門部理事、大学バレー ボール連盟理事、実業団バレー ボール連盟理事、指導普及強化委員）国体各種別監督、JOC 男女監督

5. 会議参加者

翁長良成、瑞慶覧 武、佐久川 錠、新垣淳二、川田 学、新城 武、西銘 進、西俣尚志、山田政和、下地 覚、東風平和成、宮里真行、我謝正精、上地安良、首里良和、我那霸宗芳、池田 武、山田明美、大城 正、高原景久、金城洋一、長山竜也、宇地原光、平山常仁、島尻麗美、當眞徹也、伊江周二、奥住竜馬、上地美加、金城 力、瑞慶覧直美（以上 31 名）



5. 議事録 （司会 宇地原 光）

- (1) 開会のあいさつ（新垣理事長）
- (2) 会長あいさつ（翁長会長）
 - ・長崎県のように小・中・高・一般までの連携をした指導体制を確立したい。（今日のような場面を設定し、意見の交換を活発に行う）
- (3) 目的の確認（宇地原）
 - ・バレー ボール人口の増加を目指したい。そのために沖縄県の現状、課題を共有していくことが必要。
- (4) 普及と強化について「プレゼンテーション」（平山）
 - ・普及と強化の考え方を説明。あくまでも議論するたたき台として考え方を提示
 - ・本県は、小中高の九州大会や全国大会で良い成績が出ていない。（九州は幼児のころから指導が始まっている）
 - ・小・中・高・一般をピラミッドを使って、普及と指導の割合を説明。
 - ・沖縄県は、組織全体の連携が必要である。（長野県を例に挙げる）
 - ・男子は U-14 の活性化で小・中の連携が取りやすくなり、普及と強化にも繋がっている。

- ・座安（久光アーリングス）や徳元（JT コーチ）など全国のトップで活躍する選手を県内から排出する体制作りが必要。

そして子供たちと交流させたり、地元で身近な存在として紹介するなど、小中学生へ夢を与えていくことで普及面（バレー人口の拡大など）の取り組みも活性化していくのではないか。

- ・今回のプレゼンで話し合いのきっかけになり活発に議論なれば良いかと思います。

（5）意見交換

（川田）：強化の立場から考えてみて、連携の必要性は非常に感じる。高校は、大学・一般へとの連携を大切にしたい。

- ・国体の反省の中で、強化するために、沖縄県協会の指針を示してみてはどうでしょうか。（小・中・高でしっかりと基礎となる指導の指針を決めてみては、どうでしょうか）
- ・中学から高校についての強化の連携は、JOC があるため比較的連携は取りやすくなっている。
- ・普及の連携にもっと力を入れてみてはどうだろうか、方法として沖縄県協会の指導の基で、バレー教室を定期的に行ってみてはどうでしょうか。

（西俣）：強化の面から九州大会の結果から試合の内容は良いが、勝つことはできない。

- ・指導者に対する指導技術を1本化にして、指導力向上を行うべきではないでしょうか？
- ・小学校の指導者が少なくなっている理由の1つとして、有資格者にこだわり過ぎている。高い受講料を自己負担してまでは、資格を取ることに必要性を感じていない。もう少しゆるめても良い。
- ・小学校も普及のためにメディア活用をもっと積極的に取り入れたいと考えている。
- ・中学校の先生方にもっと小学生や小学校の指導者に対する指導をしてほしい。

（西銘普及委員長）

- ・りゅうぎんカップにおいても、もっと企画運営をしっかりとおこなえば、予算はもう少し頂ける。

（司会）：小学校においてソフトバレーは、年間計画に盛り込まれていると思うが、実際には活動ができているのでしょうか？

（首里）：小学校の現場では、ネット型バレーを体育の授業の中に取り入れていかなければならぬが、子供たちのバレーに対する興味がなく、盛り上がるところがない。教師のほうも専門の教師が転勤や移動になると、クラブ活動も継続することが難しい現状である。中頭の事務局からソフトバレーに参加するように、小学校単位・クラブ単位に呼びかけても指導者に興味を示す者がいないのが現状で、普及につながることができていない。

- ・南部地区には22チーム加盟する。保護者から指導者に対してやめてもらうように進める非協力的な保護者が増えています。現在は2チームあります。
- ・指導者の実の子供が小学校を卒業すると、その外部指導者も卒業していく。現在は、教員の指導者が、かなり減っている。ベテランの指導者が引退すると、次世代がいないのが現状である。
- ・各地域にいる有資格者を指導者にかかわってもらいたい。
- ・小学校は、中学校に対して協力している。（体育館の提供等）

（新垣理事長）

・チーム数とバレー人口が減っているということは、指導者も減少することが考えられる。

- ・熊本県の資料を参考に、キッズの育成が必要である。やはりそれも有資格者の活用が必要である。
- ・協会の委員会活動については協会理事以外の委員をもっと増やして意見交換を活発にして機能的な活動を行ってもらいたい。

(山田)・中学校は専門の先生方が指導している場面が少なく、専門外の先生方を巻き込んで運営している。

専門部でフォローしている。

- ・バレー専門の先生は、高校に多い。中学校は少ない。
- ・中学校現場は、学力向上に力を入れている。
- ・中学校は、国体に対する意識は少ない。
- ・小学校の先生方に対する指導は、やりにくい。

(平山)・ 協会委員会の2つの委員会が統合され、指導普及強化委員会なりました。委員会内では2年かけて、指導普及面と強化についてようやく情報の共有ができつつあります。情報の伝達や共有はいかに時間をかけず、正確に伝えていくか課題。

今日のような内容もしっかり伝達していきたい。

(翁長会長)

- ・今回のような会を年度に2回程度は、実施して続けてほしい。
- ・長崎県は、意見を言い合って対立もあったが、それをまとめて協力して頑張ることで、良い結果を残している。(いろいろなアイディアを出すこと。)
- ・過去には、沖縄県も指導者の努力や地域の協力で全国大会に参加してきた。
これからも努力や地域の協力が連携して、沖縄県が良い成績を残せるように沖縄県バレーボール協会を立ち上げ、みんなで協力していきたい。

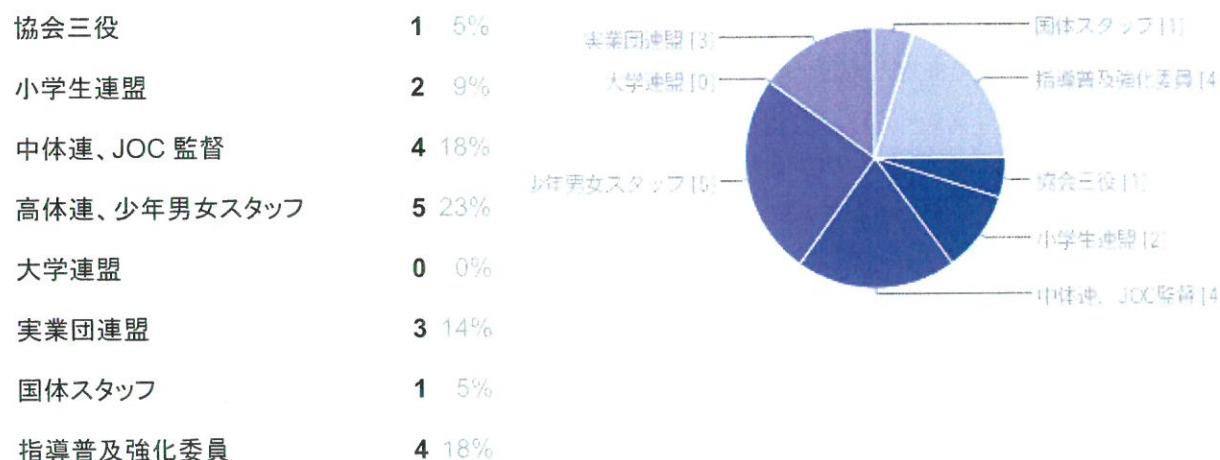
(佐久川副会長)

- ・全員から出てきた今日の意見や反省を、メール等に書き込めるようにして、協会全体で熱い話し合いを行いたい。

指導普及強化(小中高大一般)連絡協議会アンケート集計結果

アンケート 22 件の回答 回答率 71%

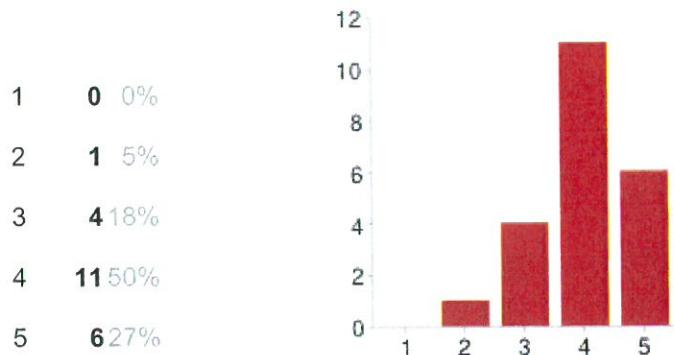
1. カテゴリー



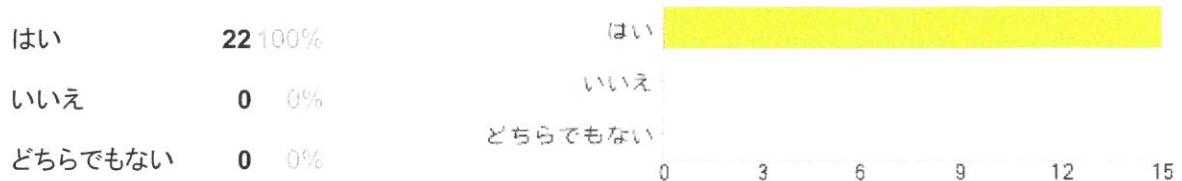
2. 今回の連絡協議会を行ってみて、どうでしたか？



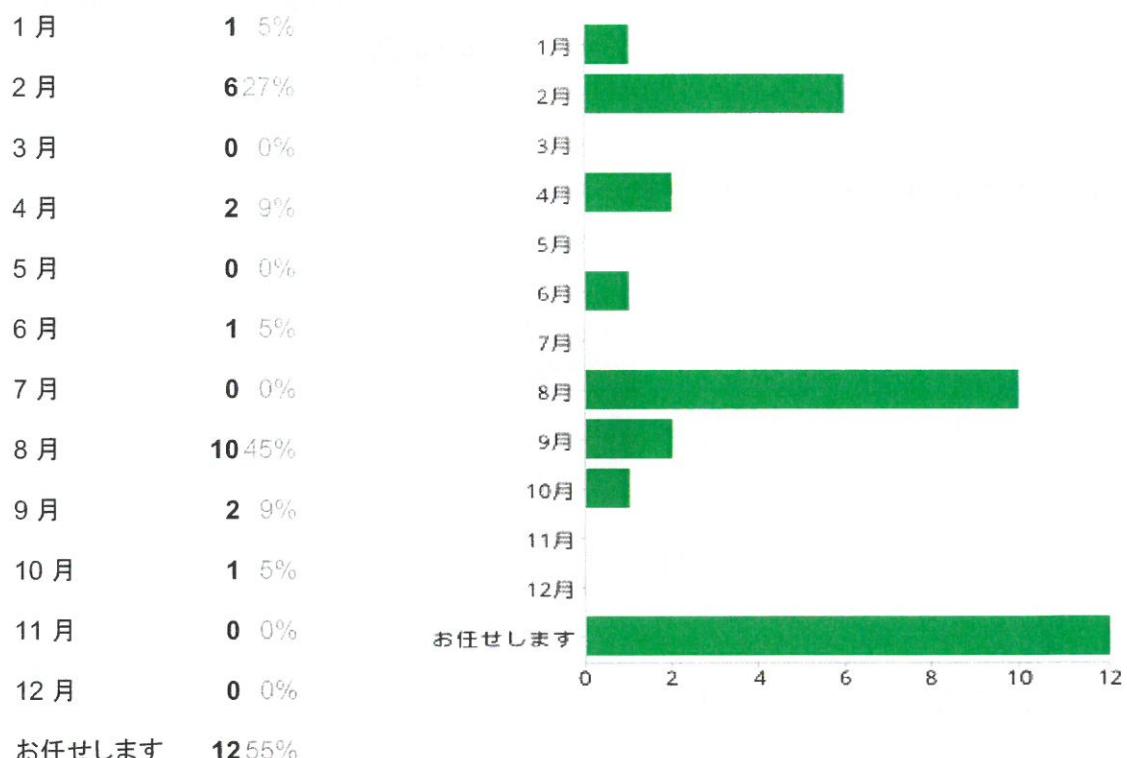
3. 会議の内容はどうでしたか？



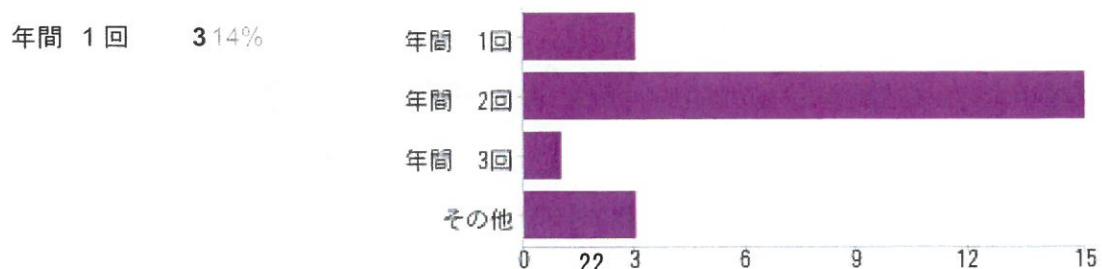
4. 今後も指導普及強化(小中高大一般)連絡協議会を定期的に行った方が良いですか



5. 会議の開催時期は何月が宜しいでしょうか？

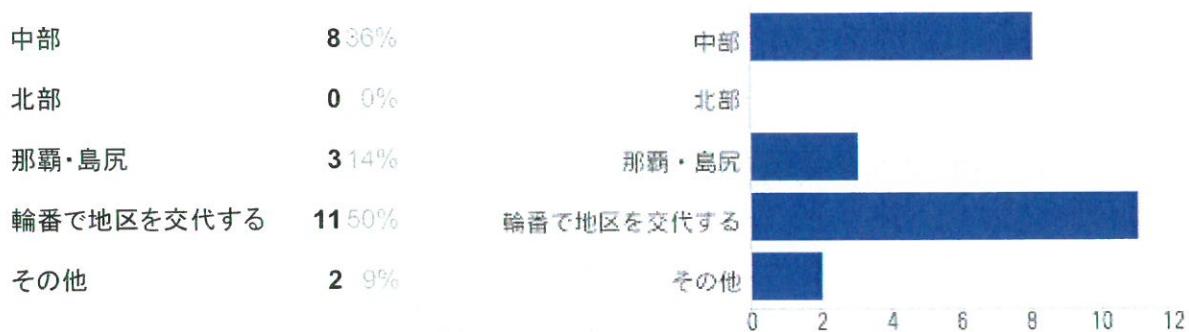


6. 今後も連絡協議会を定期的に実施するとしたら年に何回が行った方が宜しいですか？

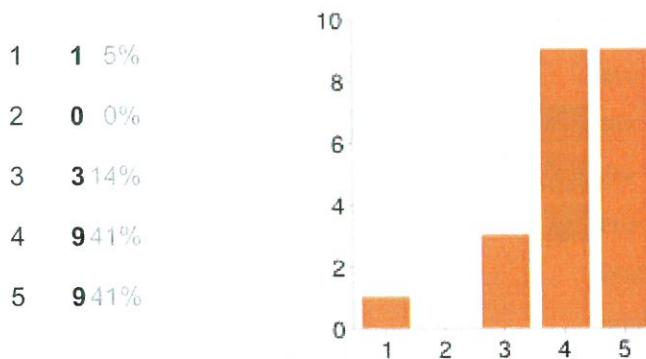


年間 2回	15 68%
年間 3回	1 5%
その他	3 14%

7. 会議の場所は



8. 懇親会は実施した方が良いですか？



9. 今回連絡協議会を行ってみて気づいたこと、感想等をお書き下さい。

- (1) 今回、各カテゴリーの状況を知ることが出来ました。これを機に協力・連携がとれるようにならうと思いました。平山先生のパワーポイントでの内容(協会としての普及・強化の方針みたいなものなど)を各カテゴリーの指導者にもうまく伝わり、全体で共有できれば良いかなと思いました。
- (2) 小体連の方の話をたくさん聞いて良かったと思います。
- (3) このような形で話し合いができたことが、第一歩だと思います。
- (4) 沖縄県の現状を知ることができたので良かった。今回の話し合い内容を各バレーボール顧問等へも情報として流して欲しいです。
- (5) 各カテゴリーとの情報交換の場として、必要だと感じました。
- (6) 初めての試みで良かったと思うが、集まる事でお互いが何か収穫があるような会議にし

ていきたい。特に小連との繋がり、関わりを深めたい。

- (7) 遅れて会議に参加しましたが、初回の集まりとして良かったと思います。継続して県全体で盛り上げていく事、底辺の拡大、指導者の育成が改善できれば、バレーボール人口を増やす計画にもプラスになるかと思います。
- (8) 時間的制約がある中、現状と趣旨説明で時間がとられ、一部の人の意見で終わったのが残念。でも現状と趣旨説明は今後の取り組み方を考える意味で喫緊の課題を模索するのによかったです。
- (9) カテゴリーごとの苦労や悩み、疑問を知ることが出来た。
- (10) 今回参加された各連盟主になる方々も良いですが、今後、もう少し規模を増やして多くの方が参加できるようになると尚良いと思います。
- (11) 特に男子の各段階の普及と強化の考え方と現状の把握が出来ていて、参加者全員が共通の考えを持つきっかけになったと思う。
- (12) バレーボール人口の減少に歯止めをかけるためにも、多くのバレーボール関係者の協議会への参加率向上の取り組みが必要であると感じた。特に、小学校・中学校の関係者が参加しやすい時期・場所に、配慮しながら会が持てると良いと思う
- (13) これまでのカテゴリー別での課題が、皆で共有できたことは非常に大事だと感じましたし、バレーボール選手数の減少は小・中・高のみならず一般チームにも及んでおり、深刻で今後の県内におけるバレーボール人口を増大させる新たな方策を講じる手立てを見出だせたらと思いました。
- (14) まずは各加盟団体が指導普及・強化に関することで一同に集まることは大変意義深いと思います。今後は直面した課題を全体で共有して一つずつ課題解決に向けて取り組んでいきたい。
- (15) まだ、遠慮があるので、本音の議論から改善策を見出だせる会議にしたい。
- (16) 第1回より、具体的な話が出て大変良かったと思います。今回感じたのは、指導普及委員の増員が必要だと感じました
- (17) 発言者が偏っているように感じました。もっと、現場の状況を伝えて欲しい！
- (18) 普及と強化の分担と連携を模索する必要がある。
- (19) 所属連盟の立場の考え方から選手中心の関わり方への考え方を求められているのではなかろうか。
- (19) 現在の沖縄県の現状を再確認することができたと思います。各カテゴリーの意見に偏りがあるように感じました。
- (20) 具体的に数値等を示していく沖縄県の現状を他県と比較できたのは良かったです。また、パワーポイントを用いての説明でしたので、とてもわかりやすかったです。今後も定期的に協議会を開催して、お互いの情報共有していくことが大事だと改めて感じました。
- (21) 以前に比べ、小学校体育連盟の意見（考え方や現状）が多く聞けた。※意見が言いやすくなったように感じる。
- (22) 強化とバレーボール人口拡大という、両立させなければならない課題をこの協議会でもっともっと議論出来ればと思った。
今後は、事前に協議内容を集約・精選し、協議会を開く方法をとってみてはどうでしょうか？※話し合いたい内容が、それぞれあるような気がします。

10. 今後話し合いをしてほしい内容がありましたら記入お願いします。

- (1) 日頃考えている事です。全てとは言いませんが、皆さんが同意できる内容があれば、検討してもらえたならありがとうございます。
- ①小学生の県大会と中学生の県大会の最終日に同じ会場での開催。(以前、中高で1月に実施していたような大会)
- ②以前実施していた中高同じ会場での大会の復活。
- ③各連盟が、小連との連携をどう取り組むか。
- ④協会主催の高校生の県大会を土日にできないか。
- ⑤指導者がバレー未経験者のチームへの出前指導。
- (2) 勝利至上主義や監督優先指導をどう考えているか。選手にとって指導者はどのような努力をしなければならないのか。技術は統一しなければならないのか。日本のバレーと世界のバレーは何が違うのか。
- (3) 上記でも記入しましたが、バレーボール人口を増やすことを皆でもっと協議していく必要が急務かと思います。
- (4) 今回参加できなかったメンバーと・2回目の参加者も含めて、次回も、同じ内容であっても共に危機感が高まるのではないか・・・・
- (5) 地域クラブの育成と学校部活との連携
- (6) 普及、強化に関する、中長期的、かつ具体的な方策の模索
- (7) HPの運用や活用方法でもっと情報収集や情報発信をしないといけないと思いました。
九州各県ではHPの情報発信も盛んで、バレー界が元気だと感じられます。各セクションへ情報担当者を決めてもらいHPへの情報提供、HPの周知をお願いし選手や応援する方がHPへのアクセス数が多くなるようにする。
- (8) 今回の国体で強く感じた事ですが、底辺からの強化を行なう事が急務であると思いました。小・中・高と近年は九州でも予選リーグ戦を勝ち抜く事が出来ずその選手をふるさと選手として起用しても他県のふるさと選手との技術の差は歴然です。後、底辺からの強化も勿論ですが、県内の大学の強化も考えなければいけないと思います。
- (9) 小中の連携について
- (10) バレーボール人口拡大について
- (11) 小学校中学校の連携を取る方法について
- (12) バレーボール人口の拡大を図る意味でキッズバレーボール教室の開催は急を要する。
- (13) 強化の面では小・中・高・一般の一貫性のある指導法の確立をどうするか。
- (14) 指導普及と強化委員会の充実を図るために委員会のメンバーを増やすことについて。
- (15) 底辺の拡大のための方策の実行。しかし、カテゴリーごとの悩みを一つ一つ拾い上げては切りが無いので、県がどうしたいか、ビジョンを提示したほうが良いのでは?

11. その他 何でもいいので一言あればお願ひします。

- (1) スタッフのみなさんお疲れ様でした。
- (2) できる限り、可能であれば2ヶ月に1回程度の開催が出来れば、と思います。
- (3) 協会で、選手向けのTシャツ指導者・役員向けのポロシャツの販売をして強化費を作つて欲しいです。指導普及強化会議で、JOCの離島選手は金銭的に厳しいので二年生は選ばないように配慮していると聞いてびっくりしました。強いチームを作る上で、金銭的な面をもっと配慮出来る様に強化費を作る事をしなければと感じています。又、ここ4年程国体スタッフとしてやっていますが、旅費の負担も有りました。
- (4) HPに各セクションの役員体制や総会の内容・年間計画・会計報告・派遣事業など報告掲載して欲しいです。
- (5) いろいろお疲れ様でした。
- (6) 共有することは難しいが、話し合わなければ、始まらない。
- (7) その取り組みに感謝しています。また、中心になって活動しているメンバーはお疲れ様です。報告？発表？資料まとめなど、本当に頑張っている姿が浮かびました。協力出来ることがあれば、何なりといつて下さい。
- (8) 大変ですけど、頑張って行きましょう。
- (9) スタートの段階を最重視するためにも、小学生の指導者を会議も懇親会も参加できるよう呼びかける。
- (10) 指導の際に目標指向型を問題指向にすり替えて指導されていないか、各カテゴリーでどのように行っているか気になります。
- (11) お互いが抱える課題を解決するための手段を今回のような会議で決議し、次、集まるときに進捗状況を報告し合うというようなものができるといいですね。すみません。具体案は出しきれません。
- (12) 沖縄県が沖縄インターハイをどうする？って話をしている頃、長崎県は長崎国体の話をしており、幼稚園児をバレーにと動いていた。他県と同じ取り組みもいいが、沖縄独自の取り組みも平行してできないかと思う。例えば、沖縄県は9人制が盛んで実連、ママさんの数はかなりいると思う。過去バレーをしていた大人も合わせて掘り起こせば、指導者はかなり発掘できると思う。20年後、確実にバレーをやっている、またはやっていた大人は減っているから、今が最後のチャンスかと思う。未来の指導者の育成と現在の指導者の発掘(掘り起こし)を平行して取り組む。全てを指導普及強化委員会が行うのは不可能なので、沖縄県独自の「発掘委員会」のような組織で取り組んでいくのはどうだろうかと思う。

以上

